



2025年2月14日

各位

会社名 ワシントンホテル株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 太
(コード番号:4691 東証スタンダード市場、名証メイン市場)
問合せ先 執行役員経理財務部部长 津尾 則文
(TEL. 052-745-9036)

通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年5月14日に公表した2025年3月期の通期業績予想及び配当予想の修正を決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 個別業績予想の修正について

(1) 2025年3月期 通期個別業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,841	百万円 1,725	百万円 1,259	百万円 1,183	円 銭 97.20
今回修正予想 (B)	21,350	2,200	1,720	1,770	146.73
増減額 (B-A)	509	475	461	587	—
増減率 (%)	2.4	27.5	36.6	49.6	—
(参考) 前期実績 (2024年3月期)	18,294	1,490	937	835	69.30

(2) 修正の理由

売上面につきましては、特にこの第3四半期(10～12月)における全国的な宿泊需要は、秋の観光シーズンに、訪日観光客(インバウンド)の増加も重なり、全体的に押し上げられることになりました。加えて、当社としての国内外旅行代理店への営業活動強化や、リニューアルに伴うツインルーム、コネクティングルームといった複数名利用可能な客室を増室するなどの集客向上策のほか、レベニューコントロールの精度向上等の効果もあり、客室稼働率、並びにADR(平均客室単価)が想定を上回る推移をいたしました。第4四半期(1～3月)は閑散期にあたるため売上規模は縮小する傾向にありますが、通期予想は前回発表数値を約5億円(2.4%)程度上回る見込みです。

利益面につきましては、売上の増加影響が主要因となり、各段階利益において当初予想を20%以上超過、特に当期純利益においては、第2四半期(中間)決算で計上した繰延税金資産の再評価分約1.1億円の影響もあり当初予想を約50%超過する見込みです。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正内容

	年間配当金		
	中間配当 (円 銭)	期末配当 (円 銭)	年間 (円 銭)
前回予想 (2024年 5 月 14日 発表)		15.00	15.00
今回修正予想		20.00	20.00
(参考)前期実績 (2024年 3 月期)		10.00	10.00

(2) 修正の理由

当社の剰余金の配当については、各事業年度の業績を勘案し、既存事業所の設備改修のほか、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ配当性向は25%を目安とした安定的かつ継続的な配当を行うことを目標にすることを基本方針としております。

2025年3月期の1株当たり配当予想におきましては、今回の通期業績予想の修正を踏まえつつ、借入金状況や、将来の設備投資等への備えなどを総合的に勘案し、前回予想から5円増配の20円に修正いたします。

今後も業績向上に努めるとともに、持続的な成長を通じて株主の皆様への利益還元を充実させてまいります。

(注) 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上